

図書館を使った調べる学習コンクール 全国表彰



「第24回全国図書館を使った調べる学習コンクール」の表彰式が2月20日、市立図書館で行われ、森田中学校2年の井上朝陽さん（奨励賞・写真左）と小関青空さん（佳作・写真右）が葛西教育長から表彰状を受け取りました。

井上さんの作文は、縄文人の暮らしを通して現代社会にメッセージを投げかけている点と、文章から郷土愛が伝わってくる点が高く評価されました。一方、小関さんの作文は、座敷童に会ったことがあるという実体験のインパクトと、そこから伝説・架空の生き物への研究に繋げた発想力が、審査員の興味を惹きつけました。

2人は「40冊ほど本を読んだ。似たようなテーマに興味を持つ人が増えてほしい」と受賞を喜びました。作文は今後、レプリカとして市内小中学校9校に配布され、調べる学習の授業等で活用される予定です。

健康万歩計

健康万歩計は、西北五医師会が、皆さんが健康で元気に過ごすための必要な情報を提供し、ドクターからのアドバイスを紹介するコーナーです。

今月のドクター

小友 勇人 先生
こどもクリニックおとも 院長



子宮頸がんワクチンを受けましょう！

子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）について解説したいと思います。昨年も、加藤レディースクリニックの加藤充弘先生、エルム女性クリニックの佐藤秀平先生が、HPVワクチンの話題を取り上げています。それだけ、産婦人科医にとって切迫した問題であるということです。もちろん、子ども達の将来を担う小児科医にとっても思いは同じです。

ヒトパピローマウイルスは、頭文字を取って「HPV」とも呼ばれますが、子宮頸がんをはじめ、肛門がん・膣がんなどの癌や、性器にイボができる尖圭コンジローマなど多くの病気の原因となっています。HPVは性的接触によって感染します。HPVは感染しても、多くの場合は免疫によって排除されますが、一部では排除できなくて子宮頸がんに行進します。

子宮頸がんは毎年約10,000人が発症し、約2,800人が死亡しています。近年では20代から40代で患者数の増加が著しく、若年者を守る対策が急務となっています。

昨年、大阪大学産婦人科研究グループからショッキングな研究が発表されました。2013年からHPVワクチンの積極的勧奨が止まっていますが、この時期に接種を受けるはずであった2000年から2003年度の4年間に生まれた女子において、17,000人の患者が増加し、4,000人の死亡が増加することが推計されるということです。このままでは、毎年4,000人

以上の患者や1,000人以上の死亡が増加すると推測されます。

HPVワクチンを接種した後に持続的な痛みや麻痺などの症状の報告があって、因果関係も分からないまま、2013年から積極的勧奨が中止とされてしまいました。その後、名古屋市で行われた数万人規模の調査で、このワクチンを接種していない同じ世代の人にも、同じような身体の不調が、同じ頻度で起こっていることが分かり、このワクチンとの因果関係は否定されています。しかし、その後も接種率は上昇せず、1%に満たない状態です。

世界では、HPVワクチンによって子宮頸がんが減少しており、WHO（世界保健機構）が10年後の「子宮頸がん撲滅宣言」を目指している中、このままでは日本だけが子宮頸がんが飛びぬけて多い国になってしまいます。

小学校6年生から高校1年生までの女子は定期接種として無料で接種できます。ぜひ接種して、子宮頸がんから守ってあげてください。ただし、ワクチン接種だけで100%予防できないので、大人になったら子宮頸がん検診も受けることも必要です。

また、HPV感染は子宮頸がんの他にも、肛門がん・口腔がん・男性性器がんや、尖圭コンジローマの原因になることから、2020年12月、やっと日本でも男性へのHPVワクチン接種が認められました。

つがる市立図書館

TSUGARU CITY LIBRARY

新しく入った本の紹介

114冊の中から4冊をピックアップ。 ※本の表紙の写真は、各出版社の使用規程に基づいて掲載しています。



タイトル: 昭和遺産へ、巡礼1703景
47都道府県108スポットからノスタルジックな佇まいを
著者: 平山 雄
出版社: 303 BOOKS
スタッフより: 純喫茶、商店街、ビルディング、酒場、ドライブイン、遊園地etc…著者が8年かけて訪れた全国1703ヶ所の昭和を体感できるスポットの中から、厳選した108景を写真と文章で紹介。巻末には「1703スポット」全リスト付き。さあ、ページをめくって懐かしい昭和レトロな世界へ…!



タイトル: エイドリアンはぜったいウソをついている
文: マーシー・キャンベル **絵:** コリーナ・ルーゲン
訳: 服部 雄一郎
出版社: 岩波書店
スタッフより: エイドリアンはいつもひとりで座っている。机もぐちゃぐちゃ、ぼんやりしてるし、「うちには馬がいるんだよ」ってウソばかり。でも母さんは「どうしてウソってわかるの?」って、わたしに聞くんだ…。自分とは「ちがう」ことを受け入れる子どもの心の葛藤や、想像の豊かさを、詩情あふれる絵と文で描く。



タイトル: 全店舗閉店して会社を清算することになりました。コロナで全店舗閉店、事業清算、再出発を選んだ社長の話
著者: 福井 寿和
出版社: 実業之日本社
スタッフより: 会社の事業が軌道に乗り始めた矢先に新型コロナが襲来。「継続か撤退か」という難しい選択を迫られ…経営していた飲食店を全店舗閉店し、会社を清算した青森県出身の著者。2児の父として、経営者として、その決断の背景とこれからのことについて綴る。



タイトル: 明日、学校へ行きたくない
言葉にならない思いを抱える君へ
著者: 茂木 健一郎 / 信田 さよ子 / 山崎 聡一郎
出版社: KADOKAWA
スタッフより: 「ふつう」ってなんだろう? 「学校に行きたくない」「いじめにあっているけれど、誰にも相談できない」…不登校、いじめなど学校に関する悩みや思いを抱える子どもたち、その保護者、かつてそういった経験をしたことがある大人からの声を集め、専門家が一緒に考える。

おはなし会

場所: セミナー・学習室

【おはなしたいむ with としょかんスタッフ】

日時: 4月25日(日) 13時30分~14時

【リサイクルフェア】

日時: 5月4日(火・祝) 10時~15時

場所: つがる市立図書館入口前イベントスペース
内容: 保管期限の過ぎた雑誌を無料で提供します。また、市民の皆様より募集した資料も提供します。1回の入場につき上限10冊までとします。
※資料の募集については、当館までお問い合わせください。

【おしらせ】

地方創生臨時交付金により絵本を購入いたしました。5月末まで児童側通路に特設コーナーを設け、貸し出しますので、どうぞご利用ください。

講座

場所: セミナー・学習室

【郷土学習講座(主催:NPO法人つがる野文庫の会)】

日時: 5月9日(日) 10時30分~11時30分

テーマ: 政治家人生いろいろ
~川嶋大史氏と対談~

講師: 福島 弘芳 氏 (前市長)

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、おはなし会や講座にご参加いただく方には下記をお願いをしています。

- セミナー・学習室入口にて検温をいたします。発熱やせきなど風邪の症状がある方は参加をお控えください。
- 手指のアルコール消毒、マスクの着用にご協力ください。
- 席の間隔をあけてご利用ください。



本を借りる際には、図書カードが必要です。

図書カードを作るには、「利用者登録申込書」にご記入いただきます。

- つがる市内にお住まいの方・通勤・通学されている方、定住自立圏内(五所川原市・中泊町・鶴田町・鱒ヶ沢町・深浦町)にお住まいの方は、住所・氏名が確認できるもの(マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証、学生証など)をご提示ください。
- 上記以外にお住まいの方は、お住まいの公共図書館で「青森県内図書館共通利用券」を発行していただき、ご持参ください。詳しくは、図書館カウンターへお問い合わせください。



〒038-3107 青森県つがる市柏稲盛幾世41番地 (イオンモールつがる柏内) ●電話: 25-3131
開館時間: 10:00~20:00 ●4月の休館日: 4月26日(月)